

3 すべての人に  
健康と福祉を



12 つくる責任  
つかう責任



### 3.9

2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。

### 12.2

2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。

## 非金属材料に加工や処理を施して 新たなインプラント材料をつくる

ナノジルコニアやPEEKといった非金属材料に加工や処理を行い、新たなインプラント材料をつくる研究をしています。

金属を用いないため、口腔内での金属の溶出が発生しないことから、金属アレルギーの患者さんにも利用ができ、かつ金属アレルギーの発症を防止することができます。

インプラント材料の選択肢の中に非金属材料が入ることにより、金属材料を用いる機会が減少し、金属資源を守ることに繋がると考えます。



#### message

本学の学生や若い勤務医にも女性歯科医師が半数近くまで増えており、私は学生や勤務医に対して、男女の区別なく、質の高い技術教育や職業教育を行わなければならないと考えます。

西崎 真理子

歯学部

欠損歯列補綴咬合学講座